

中高一貫教育について

高校教育課

本県における中高一貫校のモデルケースについて（案）

平成 21 年 8 月

長野県教育委員会

国における制度化を受けて本県では、平成 10 年 10 月、市町村教育委員会、学校、P T A の関係者や学識経験者等からなる長野県中高一貫教育研究会議を設置し、平成 11 年度に県内 3 地域で実践研究を行って、平成 12 年 3 月、「公立学校への導入計画について、できるだけ早期に検討する必要がある。」という報告がなされた。

それを受けて平成 12 年 4 月、県教育委員会事務局内に中高一貫教育検討委員会を設置し、平成 13 年 3 月、「中高一貫教育の導入について（まとめ）」を公表し、『ゆとり』のなかで、自然や様々な人々との『まじわり』を通じ、計画的・継続的な『つながり』をもった中高一貫教育を通して、自ら考え自ら学ぶ力を持ち、豊かな人間性にあふれる人間の育成を目指し、導入していく、併設型については平成 16 年度以降の設置、連携型については平成 15 年度以降複数の設置を目指すとした。

その後、諸般の事情により計画は進まなかったが、その間、全国においては中高一貫校の設置が進み、平成 20 年度現在、中等教育学校は国公立 23 校、私立 13 校、計 36 校、併設型は国公立 61 校、私立 158 校、計 219 校、連携型は国公立 78 校、私立 1 校、計 79 校に達している。

こうした状況に鑑み、昨年 9 月に決定した高等学校再編計画の骨子では、「こうした全国状況や本県におけるこれまでの経緯を踏まえ、改めて導入について検討を行う」こととし、本年 6 月に決定した第 1 期高等学校再編計画においては、

基本的な考え方として、「平成 13 年の中高一貫教育検討委員会報告書を基本に据えて、配置、形態、地域のニーズ等を考慮し、新しいタイプの高校のひとつとして、中高一貫教育を導入する。」として、併設型を東北信、中南信に 1 校ずつ設置する方針を示した。

県教育委員会としては、この基本的な考え方に基づいて、長野県にふさわしい中高一貫教育のあり方を示し、県民の意見を聞いて進めていく必要があると考えており、モデルケースとして設置することを決定した併設型中高一貫校について、そのあり方の概要を以下のとおり提示するものである。

1 併設型中高一貫校の設置方針

弾力的・系統的な教育課程の編成が可能で、個性の伸長、学力の向上が期待できる併設型を導入する。導入にあたっては、本県におけるモデルケースとして位置づけ、東北信、中南信に 1 校ずつ設置する。

設置にあたっては、地域のニーズや高校の魅力づくりとの関連を考慮し、できるだけ広域から通学できることが望ましい。

「第 1 期長野県高等学校再編計画」(平成 21 年 6 月)

2 教育理念

人の心の痛みのわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成をめざす。

3 設置形態等

設置者 長野県

設置形態 既設の県立高等学校に県立中学校を設置する。(併設型)

併設型高等学校

課程・学科 全日制普通科を主とする高等学校

併設型中学校

| | |
|------|---|
| 通学区域 | 原則として東北信と中南信の2区域に分ける。 |
| 募集人員 | 2学級程度 |
| 選抜方法 | 学力検査は行わず、小学校からの報告書(調査書)、適性検査、作文、面接などのうちいくつかを総合的に判定する。 |

特色ある教育活動

教育課程の特例措置を積極的に活用して柔軟な教育課程を編成し、特色ある教育活動を展開する。

(例)

- ・生徒会活動、部活動、ボランティア活動、地域とのふれあい活動など、多様な経験を積む機会を提供し、幅広い人間性や主体性を育成する。
- ・実験・観察、課題探究等を通し、自ら課題を見出し設定して取り組む態度を養い、知的好奇心、学究的な姿勢を育む。

4 設置校の選定

県で示した教育理念、設置形態等をもとに、地域や学校からの提言や要望を踏まえ、学校の特色、交通の利便性等を考慮して設置校を選定する。

なお、屋代高校については、東北信における候補校とし、地域や学校からの意見を聞きながら、学校のあり方について年内に検討する。

5 留意点

設置にあたっては、以下の事項に留意して、地元自治体、市町村教育委員会など、地域の理解を得ながら計画を進める必要がある。

- ・併設型中学校を設置することによる地元中学校への影響を最小限に抑える。
- ・中学生が広い範囲から通いやすい立地条件にあること。
- ・児童・生徒、保護者、教職員等へ十分周知するとともに、小学校における進路指導の充実を図る。

本県における中高一貫校のモデルケースの概要（案）

設置者

- ・長野県

設置形態

- ・既設の県立高等学校に県立中学校を設置（併設型）

教育理念

- ・人の心の痛みのわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成をめざす。

特色ある教育活動

- ・教育課程の特例措置を積極的に活用して柔軟な教育課程の編成

設置課程・学科

- ・全日制普通科を主とする

併設型中高一貫教育校

併設型高等学校

高校3年

高校2年

高校1年

無選抜

中学3年

中学2年

中学1年

併設型中学校

県立高等学校入学者選抜

公立中学校

中学3年

中学2年

中学1年

入学者の決定

2学級程度の募集

就学指定

公立小学校

就学指定

通学区域

- ・東北信と中南信の2区域

選抜方法

- ・学力検査を行わず、
- ・小学校からの報告書（調査書）
- ・適性検査
- ・作文
- ・面接
- などのうちいくつかを総合的に判定する

設置校の選定

- ・モデルケースの教育理念、設置形態等をもとに、地域や学校からの提言や要望を踏まえ、学校の特色、交通の利便性等を考慮して設置校を選定する
- ・屋代高校については、東北信における候補校とし、地域や学校からの意見を聞きながら、学校のあり方について年内に検討する